

人生一度の高校生活 明誠での生活を振り返る

大まかな3年間のあゆみ		
=平成29年=		
4月 6日	入学式	
4月 25～27日	集団宿泊研修 (於：国立中央青少年交流の家)	
6月 9～10日	青鑑祭	
9月 26日	体育大会	
11月 7日	芸術鑑賞教室 (和太鼓演奏)	
2月 13～17日	寒稽古	
=平成30年=		
4月 26日	遠足 (於：ナガシマスパーランド)	
6月 8～9日	青鑑祭	
9月 28日	体育大会	
11月 15日	芸術鑑賞教室 (伝統話芸・雑芸)	
11月 29～12月7日	サッカー部オランダ修学旅行	
11月 30～12月6日	普通科ハワイ修学旅行	
11月 30～12月14日	英数科カリフォルニア修学旅行	
=平成31年・令和元年=		
4月 25日	遠足 (於：富士急ハイランド)	
6月 14～15日	青鑑祭	
9月 25日	体育大会	
11月 13日	芸術鑑賞教室 (オペラ鑑賞)	
1月 18～19日	センター試験	
3月 5日	卒業式	

向上心もち挑戦続ける



31HR (大浜中出身)
古 家 風 翔

私は、3年間明誠で生活しました。私が高校生活で特に力を入れたのは部活です。私は野球部に所属していました。入学してすぐに、明誠は初の甲子園出場を果たしました。私たちの高校野球生活は、良いスタートを切りました。しかし、残りの2年間は思うような結果が出せませんでした。しかし、そこから学んだことがあります。それは、野球以外の部分が大切だということです。人として当たり前のことができない人間が、良い結果を出せるわけがありません。寮や自宅、学校での生活、常に向上心を持ち、挑戦し続けます。

ひとつひとつの積み重ね



32HR (明誠中出身)
栗 津 康 介

私は中学・高校の6年間を明誠で過ごし、文武両道を目標に多くのことに励みました。所属していたサッカー部は260人という大所帯であり、多くの仲間とコミュニケーションをとる機会がありました。また、多くの人と接することで、個々に合った接し方など、社会に出て必要となるスキルを身につけることができました。これは部員数が多い明誠サッカー部だからこその経験だと思っています。

多くの人への感謝



33HR (東益津中出身)
宮 崎 凌

明誠高校での3年間、私は文武両道を目標に部活・勉強に励み、多くの人にサポートしてもらい、成長することができました。私が所属していたサッカー部では、サッカーの

明誠で過ごした6年間に感謝



34HR (明誠中出身)
白 井 マ リ ア

中学生の頃、廊下を歩く高校生たちはとても楽しそうに大人びて見え、私もそうなれるのか不安でいっぱいでした。そして明誠での生活が6年経った今、あの頃感じていた不安とは裏腹に充実した日々を送れています。それは中学3年生のときに行った1つの挑戦のおかげだと思います。私は小さい頃から人と関わるのが苦手でした。ですが、いつまでも苦手のままにしておいてはいけなそうと考え、みんなと仲良く内進英数科クラスから全員と初対面の普通科クラスに進むことにしました。最初は緊張

サッカーで学んだ「人間性」



35HR (菊川西中出身)
八 木 海 翔

明誠での3年間は、私にとってもとても充実したものでありました。所属したサッカー部では、選手権で全国大会に行くことを目標にして日々の練習に励んでいました。その中で私が成長した

人としての成長



36HR (小川中出身)
有 光 典 子

明誠での3年間で、自分自身の価値観や視野が広がった。明誠には様々な人がいる。多くの人が、目標をもって挑戦し、日々努力している。私は、3年間陸上部のマネージャーと

明誠で広い見識をもてた



37HR (御川東中出身)
永 井 佑 未

明誠での3年間の学校生活は、とても充実していて、私自身を成長させてくれました。特に視野を広げ、複数の視点から物事を深く考えることができるようになったことは、私にとって大きな成果となりました。それは、異文化理解の重要性を認識するだ

Persepolis Project



38HR (葉栗中出身)
寺 田 勇 魚

私の明誠での3年間を一言で表すとすれば、それは「成長」だろう。3年前の私は、ハッキリ言って「ダメなヤツ」だった。提出物の期限は守らない、授業もまともに聴かない、そして何より

明誠での経験値を宝に



39HR (青島中出身)
加 塩 優 希

私は明誠での3年間でたくさんの経験を積み、大きく成長することができました。入学当初、私は高校生活に馴染めず、不安しかありませんでした。しかし、入学当初は進路や受験を意識できず、周りの人や学年全体が次第に受験を意識することで刺激を受け、前を向き少しずつ、ひたむきに前進

仲間と頑張り続けた3年間



310HR (相良中出身)
辻 綾乃

「第一志望全員合格」

この目標の下、2年間私のクラスは勉学に励んできました。文理混合クラスということもあり、全員で受ける授業は英語しかありませんでした。このことも影響しているのか、男子と女子とは勉強の方法が異なっていました。3年生になり、9時まで学習が始まっても女子は学校、男子は家や塾、という具合で男女が関わることはあまりなかったように思います。

しかし関わりは少なくとも、努力して結果を出す仲間たちの姿は、各々が勉強に向かうためのエネルギーになっていました。ときに仲間が劇的に成長する中で、私自身思うように成績が伸びず、クラスにいることが苦痛だと感じた日もありましたが、今ではこの仲間たちと共に過ごせたからこそ、最後まで頑張り続けることができたのだと確信しています。

明誠で過ごした密度の濃い3年間は、この先どんな困難が立ちばだかろうとも、未来への一歩を踏み出す大きな糧になることに違いありません。

夢に向かって続ける



311HR (明誠中出身)
杉本 悠宇馬

明誠中学に入学し、6年間明誠で過ごしてきた私は趣味で釣りをしており、いつからか将来釣りを仕事にしたいと思うまでになった。釣りだけは誰にも負けないようにと本気で取り組んできた。私がここまで釣りに没頭できたのは、率直に言うて明誠のおかげだろう。書きたいことはたくさんあるが、1つ例を挙げるなら大学受験についてだ。当たり前だが、釣りばかりやっている私は成績が底辺だった。しかし先生

方を見捨てず、何かあれば相談に乗ってくださる受験にプレゼンが必要だとわかれれば、プロジェクトリーダーを用意してくださり、本番さながらのシチュエーションで練習をさせていただいた。結果、希望する東海大学の海洋学部

国際人として羽ばたくために



豊かな自然の中で異文化を体験

カリフォルニア班 (国際教養コース)
違いや違和感こそ楽しむべき

文化というのは異なるからこそ生まれた言葉である。国際教養コースはカリフォルニア、オレンジ郡にあるサドルバックという地域でホームステイを

行った。閑静な住宅街と落ち着いた雰囲気、サドルバックカレッジは二十三名という少人数の研修をより一層実りのあるものに変えてくれた。カリフォルニアには個性豊かなビーチがたくさんあり、同じ州でも地域が違えば異なった顔を持つ。所謂地元の子でいるニューポートビーチや、サンディエゴにある断崖絶壁のラホヤビーチ、観光名所として高いサントモニカビーチなどを訪れることで生徒たちはそれぞれの個性に入り込むことができるようになった。最後は大きな事故や体調不良者もなく当初の目標を達成し修学旅行を終えることができた26ホームルームの生徒たちに大きな拍手と称賛を贈りたいと思う。おめでとう。そしてお疲れさまでした。(26HR担任・山本 健太郎)

高校2年修学旅行

異国の地で異文化について学ぶ

カリフォルニア班 (英数科)
プレゼン通して日本を紹介



仲間と励まし合い、本土での生活を楽しんだ

令和元年12月6日から20日の約2週間、英数科(26HR除く)141名は、カリフォルニア州グレンドールで語学研修と異文化体験を目的に修学旅行を行った。生徒は「一人一家庭」によるホームステイを行い、シトラスカレッジ併設のFLS語学センターでは実物のスペインシヤトルを見学した。出発当日、羽田及び成田空港から、LAX空港に到着し、その後学生センターでホストファミリーと対面し、緊張感の中各々の家庭に向かった。2日間ホスト宅で過ごし、4日目はクラス分けテストやキャンパス見学・市内観光を実施した。翌日からクラス別授業が始まり、最初は緊張気味だった生徒達も、教師のユニークな授業やAG(学生ガイド)と接し、英語で話す機会が増え、意欲的に学習を進めた。6日目は、UCLAで厳格な校舎を見学し、世界最高水準の学問を学ぶ学生に触れ、サイエンスセンターでは実物のスペインシヤトルを見学した。8日目は、留学生や教員を対象にプレゼンを実施し、「日本文化の紹介」をテーマに和食・衣服・祭事・社寺仏閣や、剣玉・漫才の実演等、英語で発表した。9日目は、開校64年目を迎えたディズニールランドを満喫し、12日目はグレンドール天文台・ファーマーズマーケット・ドジャーススタジアムを見学した。最後は、修了証書授与式・ピザパーティー・授与式・オミルズで最後の買物を楽しんだ。この体験が今後の生活に生かされることを期待している。(団長・学年主任 小股 範保)

ホームステイは意義ある研修



戦艦ミズーリにて、日米の歴史を学んだ

日本人はハワイが好きだ。2019年に同地を訪れた邦人数は150万人超とも言われている。藤枝市の人口の約10倍だ。この数か月、話の折に修

るも想像の域を出ない。本校普通科修学旅行は12月13日から19日の約1週間、オアフ島で実施した。本校修学旅行は開校以来続き、今回で35回目を迎える伝統行事だ。ハワイは2泊のホームステイである。拙い英語と身振り手振り、グーグル翻訳を用いて生活した2日間の経験は、彼らを国際人に成長させた。ホームステイ最終日、出発前には不安そうな顔をしていた生徒が、集合場所まで「もう1泊したかった」と漏らしたときにその確信した。そんな生徒がいただけでも、研修は十分に意義のあるものであった。

「個」の力で強いチームに



サッカー研修での一幕

自身2度目となるオランダ修学旅行。テロや治安の問題で、本校の生徒であった6年前とは異なりオランダのみの修学旅行であった。当時とは立

たため、改めてどのようなことが吸収できるか楽しんでいた。オランダのサッカー指導者によるサッカー指導が行われた。「自分のマークに負けるな、1対1では点を決めさせるな」と必要以上にコーチングしていた。「個人」の存在をとても重要視していて、前述した通り、個人で打開することを求めるのがオランダサッカーの特徴だ。ただそれが良いかどうかは別で、私たち日本にはチームワークや勤勉性の高さがあってと思う。しかし、サッカーでの結果を見てしまうと、オランダには到底追いつかないのが現実であった。今後の課題として、元々あるものにプラスαしてオランダで学んだことを指導していかれたらと思う。今回の修学旅行では、オランダのサッカーに対する考え方を学ぶことができた。チームの中に個性があるのではなく、個性が強いからチームが成る。部員78名での活動であったが、生徒たちには個性が強く、そしてチームでも強く、今回得た経験から今後大きく飛躍してもらえよう、強く願う。(サッカー部顧問 高田 優)

欧州サッカーを肌で体験

オランダ班 (普通科)

さらなる英語学習への意欲

25 HR (葉梨中出身)

河合美空

私は初めての海外旅行への高揚感とホームステイへの不安を抱え、ハワイへと向かった。
ハワイでは日本の文化や習慣との違いを感じ、人の優しさにも触れることができた。例えばお店に入るとき、お客も店員も互いに挨拶するということや、信号のない横断歩道を渡るときは、ほと

オランダの驚きと日本の良さ

23 HR (飯塚第二中出身)

小笠原 新

修学旅行では現地高校生との試合や指導者による講習、現地チームの試合観戦など、サッカーを通して世界のレベルの高さを痛感した。
他にもこの国に対する驚きと発見があった。散歩中、人とすれ違えば挨拶が飛び交う。毎日忙しいような日本では見かけない光景だ。

中学生耐寒持久走

自分と向き合い全力出す

令和初の耐寒持久走が1月24日(金)に行われた。快晴で風もなく絶好の持久走日和のコンディションの中、中学生185名が栃山川のコース3・4km(1周1・7km)を全力で走り抜いた。この冬の時期の持久走といえば誰もが毛嫌いするであろう定番の行事。

独特の緊張感が漂う中、スタートすると全力でゴールに向かってひた向きに走る姿を観ることができた。タイムが速い生徒は男子で12分台、女子では16分台で走りきった。長距離走が苦手な生徒も自分と向き合って全力を出し切った走り、自己ベストを更新することができた。今回体調不良やケガで参加できなかった生徒は、記録の補助や応援に回り、積極的にサポートに回り、走者を

USA Regionals 2020 静岡大会 優勝! チアリーディング部 Daisies 全国大会出場!



全力を出し切り、栄光を掴んだ

28 HR (高洲中出身) 岸端 海咲
J 32 HR (長田西小出身) 龍崎 心
私たちチアリーディング部は2月11日に行われたUSA Regionals 2020 静岡大会に参加し、中高共に全国大会への出場権を獲得しました。

夏から新体制になり、改めて日頃の生活を見直しました。掃除や挨拶が目指します。

男子バスケットボール部 ウィンターカップを終えて



全部員が一丸となり前へ進む

大きな財産と誇り
私たちバスケットボール部は、12月23日から行われたウィンターカップに出場しました。

の無い雰囲気になり、2回戦敗退という悔しい結果に終わりました。しかし、全国制覇というチームの目標を達成するまでは負けられないという気持ちで、より一層頑張ることができました。チアリーディング部をはじめ、サッカー部や多くの先生方、生徒のみなさん、保護者の方々にも応援に駆けつけていただき、その後押しのおかげで1回戦を快勝しましたが、しかし、続く2回戦では終始流れを掴むことがで

寒さに耐え、生命を走り続けた。盛り上げてくれた。また多くの保護者が応援に駆けつけていただき生徒たちの後押しをして頂いた。参加した全員でいい雰囲気を作り出し達成感を感じることができた耐寒持久走であった。

離れる、耐寒持久走が1月の最後に行われた。目標は女子で一番になることだったが当日は皆についていくことすら大変だった。友達と励まし合いながら頑張った。

令和2年2月4日、本校を会場に入学試験が行われた。今年度は単願・併願を合わせて1485名の中学生と、58名の内部進学生が受験した(追試験含む)。毎年のことではあるが、来校した中学生たちは表情を硬くし、緊張に身体を強張らせていた。しかし、試験・面接などの際は堂々と受験

留学生のコーナー
22HR (大韓民国出身) 孔 恩 授
私の名前はゴン・ウンスです。韓国のソウルから来ました。最初、日本語と明誠での学校生活に慣れず少し大変でしたが、サッカー部の仲間と学校

の先生方がとても優しく、いつも助けてくれたので、早く慣れることができました。部活はサッカー部に所属しています。部員が多く、最初からたくさんの友達を作ることができました。明誠でサッカー選手になるために来ましたが、これからもっと日本語を上達させ、良い人間性を養えるように努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

サッカーと日本語、人間性の向上を目指す



多くの仲間と囲まれ、部活・勉学に励んでいる

私の修学旅行



③ホストファミリーと濃い時間を過ごした ①カメハメハ大王像の前にて
④語学研修の合間の一幕 ②サッカーだけでなくヨーロッパ文化も学んだ

毎日発見や出会いがあった

26 HR (榛原中出身)

大石 一乃

私たち国際教養は、英数科コースとは違うサドルバックで、約2週間生活しました。海が近かったこともあり、いくつかの海へ行きました。中でもニュージーランドビーチで見た光景は、日本では見ることがないほど美しく、とても感動しました。現地の高校生との交流では、

「経験は宝」

28 HR (テレーシア湘南中出身)

兼子 力

美しさと思議に満ち溢れる世界、カリフォルニア。12月6日から20日の2週間にかけての修学旅行がついに始まった。私のホストファミリーはとても親切で、笑顔で私を迎え入れてくれた。毎日が楽しく、沢山の思い出が出来た。平日のネイティブの先生による英語の授業では、日本とは全く違う授業様式のため、飽きることが全くなかった。ディズニーランドでは、友人たちと美味しい食べ物やアトラクションを満喫し、幸せな時間を過ごした。